

看護実践統合演習

[演習] 第3学年 前期 必修 1単位

《担当者名》○高木由希 u_uta@hoku-iryo-u.ac.jp 山田拓 中安隆志 船橋久美子 増田悠佑 谷本真唯 米川弘樹

基礎・統合看護学講座：竹生礼子 塚本容子 明野伸次 福井純子 川添恵理子 明野聖子 横川亜希子 表山知里 三津橋梨絵 山口夕貴 吉田菜摘 白川まゆこ

生涯発達看護学講座：桑原ゆみ 木浪智佳子 常田美和 八木こずえ 宮地普子 内ヶ島伸也 唐津ふさ 熊谷歌織 神田直樹 若濱奈々子 伊藤加奈子 川崎ゆかり 野崎由希子 中谷智子

【概要】

3年次の臨地実習に必要な看護実践能力の修得を目指し、ロールプレイングを取り入れたグループ学習によって臨床判断および対象者の状況に応じた看護援助を実践的に学ぶ。

看護実践能力の修得に関しては、OSCE (Objective Structured Clinical Examination：模擬患者参加による客観的臨床能力試験) によって評価を受け、自己の課題を明らかにする。

【学修目標】

1. 対象者の特性や状況をアセスメントするための手がかりとなる情報を導き出すことができる
2. 得られた情報の意味を解釈し、対象者の現在の状況や今後起こり得る変化を考えることができる
3. 対象者に起こり得る状況の予測に基づいた看護援助を計画し、適切な看護援助を実践することができる
4. 実践内容、対象者の反応、および実践の中の省察をふまえて他者に報告できる
5. 臨地実習に向けて看護実践能力の自己課題を明確にできる

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	看護実践統合演習の目的と構成	講義 1. 科目のねらいと演習の進め方を理解する 2. 事例の概要および場面1について理解する	科目運営教員
2) 3	「気づき」	演習：講義室でのグループワーク 場面1において着目すべき情報は何かを検討し、アセスメントをするために更に必要な追加情報を挙げる	科目運営教員、他担当教員（詳細は別紙）
4) 5	「解釈」	演習：講義室でのグループワーク 1. 情報収集した内容から、対象者の現在の状況や、今後起こり得る変化についてのあらゆる可能性（仮説）を考え、判断すべき状況の優先順位について検討する 2. 対象者の状況を明らかにするための観察や問診内容について検討し、援助計画を立案する準備を行う	科目運営教員、他担当教員（詳細は別紙）
6) 7	「実践の中の省察と反応・対象者の反応」	演習：模擬患者を対象としたシミュレーション演習 立案した援助計画をもとに模擬患者を対象としたシミュレーション演習を行い、実践結果をふまえ対象者の状況を判断する	科目運営教員、他担当教員（詳細は別紙）
8	前半のまとめと後半について	講義 1. 場面1における実践を振り返り、今後必要となる援助について検討する 2. 場面2について理解する	科目運営教員
9) 10	「実践の中の省察」から「気づき」「解釈」へのつながり	演習：講義室でのグループワーク 1. 場面2で新しく得られた情報を整理し、場面1からの経過をふまえて仮説を再考し、介入すべき状況の優先順位について検討する 2. 対象者の状況に応じた援助内容について検討し、援助計画を立案する準備を行う	科目運営教員、他担当教員（詳細は別紙）
11) 12	「実践の中の省察と反応・対象者の反応」	演習：実習室でのロールプレイ演習 場面2における援助計画をもとに、学生グループ内でのロールプレイを行い、実践内容について評価と修正を行う	科目運営教員、他担当教員（詳細は別紙）

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
13 (14	「実践の中の省察と反応・対象者の反応」	演習：模擬患者を対象としたロールプレイ演習 11-12 回のロールプレイをもとに修正した援助計画を用いて模擬患者を対象とした援助の実施を行い、実践内容について評価を行う	科目運営教員、他担当教員（詳細は別紙）
15	全体まとめ・評価 実技試験（OSCE）の説明	講義 1．演習の振り返りと学びの共有 2．臨地実習での看護実践における自己課題の明確化 3．OSCEの目的・実施・評価等の説明	科目運営教員

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【アクティブ・ラーニング】

導入している

【評価方法】

課題（ワークシート・その他）20%、実技試験（OSCE）80%

- ・OSCEは前期定期試験期間（1日）に行う
- ・追再試験は前期履修期間中に行う
- ・不合格者には評価の結果をフィードバックし、再試験に向けた自主練習を課す

【教科書】

学習内容に関連する既習科目の教科書

【参考書】

必要に応じてその都度紹介する

【備考】

視聴覚教材を必要に応じて紹介する

Google classroomを使用し、予習復習に関する課題提示と資料の提示を行う

Google driveを活用し、演習動画の視聴による自己学習を行う

Google formを活用し、講義時間内に演習での学びを共有する

【学修の準備】

下記の内容をふまえ、授業毎に予習復習を行い参加する（1時間）

- 1．事例に関連した2年次までの履修専門科目（人体構造機能学、看護技術各論、看護技術演習、成人病態と臨床実践など）を復習する
- 2．事前に提示された課題に取り組み、演習内容を理解した上で毎回の授業に臨む
- 3．各演習の開始前までに、使用する物品の取り扱いについて確認する
- 4．指定する視聴覚教材を視聴した上で演習に参加する
- 5．指定する演習回前の自主練習を行い演習に参加する

【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】

DP3: 社会環境の変化や保健・医療・福祉の新たなニーズに対応できるよう自己研鑽し、自らの専門領域において自律的・創造的に実践する能力を身につけている

【実務経験】

看護実践統合演習に関わる教員は、看護師資格を有している

【実務経験を活かした教育内容】

看護師として現場での実務経験と大学教員として実習指導の経験を活かし実践的教育を行う

【その他】

この科目は主要授業科目に設定している